

ニドのモンテッソーリ活動



5色の玉

きれいな5色の玉をじっくりと見て、声を出して、ご機嫌な姿がみられます。焦点を合わせることや、視覚の発達を促します。



半開きの箱

開けると、何が入っているかな？開けたり閉めたり、3本指でつまみ、違う手の動きを体験します。

ICのモンテッソーリ活動



描画(クレヨン)

紙にクレヨンで自由に描く活動です。四角いクレヨンのため、握りやすく弱い力でも描くことができます。力の具合で線の太さや濃さも様々に描けます。



ひも通し(ビーズ)

玉止めされた紐に、穴の開いたビーズを通したり抜いたりする活動です。目と手の協応を養い、紐を引く、ビーズを動かすなど上下左右の腕の動きを促します。

プライマリー

青色バッチが大好きなおしごと

今、青バッチの間では「切手遊び」というお仕事が大人気です。教具を使い、4桁の計算をしていきます。足し算、引き算、掛け算、割り算の中から今回は足し算をご紹介します。使うものは、2cm平方の木製カードです。緑のカードには1と1000、青には10、赤には100の数字が印字されています。例えば2154+3312であれば、緑の1のカードを4つ、青のカードを5つ、赤のカードを1つ、緑のカードを2つ置き、2154の数を作ります。次にその下に同様に3312を置きます。全て並べ終わったら、2つの4桁の切手を合体させ、上からいくつになったか数え、答えを書きます。切手遊びを、教具を通してやり遂げることで、子どもたちは、とても大きい数の計算が、たった一人でできた喜び、楽しそうに次々の問題へと進みます。最初は「先生、一緒にやって」と不安そうに話しかけますが、色々な問題にチャレンジしていくうち「一人でできるから、もう大丈夫」と自信満々になる姿が見られます。

切手遊び(足し算)
数教育



*保護者の方に「お仕事」をご紹介します目的で作ったページです。「我が子はやっている、やっていない」のチェックに使ったり、「あなたもやりなさい」などは決して言わないで下さい。モンテッソーリ教育では、基本的に子どもたちは、自分でお仕事を選びます。私たちは1人ひとりの「自己選択」の力の育ちを大切にしています。時期が来たら必ず自然と興味を持ちますし、基礎から積んでいくことが大事です。そして、1人ひとり個性がありペースが違うのです。私たちは、観察を通して適切な誘いかけをしていきます。どうか、子どもたちのモンテッソーリのお部屋をそっと覗かせてもらうようお願いいたします。